

ある日曜日の午後

「H.O.さんとの会話より」
 日直で事務所にいると、
 「娘の声が聴きたいが電話に
 出ないけど・・・」
 携帯電話を持って突然事務
 所にやってきました。

「もう少し時間をおいてか
 らかけ直しましょう」と答
 え、待つ間少しお話をする
 ことになった。

私はね大桑村の出身だよ。
 実家は農家で、米や野菜を
 作っていたよ。十人兄妹の
 長女で、一番下の弟とはず
 いぶん歳が離れていた。私
 の娘と同じくらいの歳だか
 ら・・・。今では珍しい事
 かもしれないが、その頃はど
 こも子沢山で普通だったよ。
 小さい時から弟や妹の子
 守をしたし、小学校位の時
 から百姓の手伝いもしてい
 たなあ。家の手伝いが忙し
 くて学校も時々休んだよ。
 でもそれが当たり前だった。



納涼会ですいか割り

とにかく家族が多いから
 毎日ドンチャカ、ドンチャ
 カにぎやかだった。
 親たちは子供たちのため
 に良く頑張ったと今になっ
 て思うよ。自分には三人の
 子供がいるが、そんなもん
 じゃなかったらうに。
 今一番楽しみにしている
 ことは、やつぱり食べるこ
 と。それから若い職員さん
 の顔を見てのんきにしてい
 ることがいいと思うしあり
 がたいと思う。

子供たちは遠くにいるが、
 時々自宅に連れて行ってく
 れて一緒に泊まってくれた
 りするので本当にありがた
 い。皆都会に出て頑張っ
 ているので安心しとる。
 最近は足が弱って外には
 あまり出られんが、私も頑
 張らにや。そう言って事務
 所を後にします。
 しばらくすると、玄関先
 で電話をしながらニコニコ
 して時々頷き、とても嬉し
 そうです。



これからもお元気で 敬老会



小学生と楽しい折り紙



そば打ちの実演